



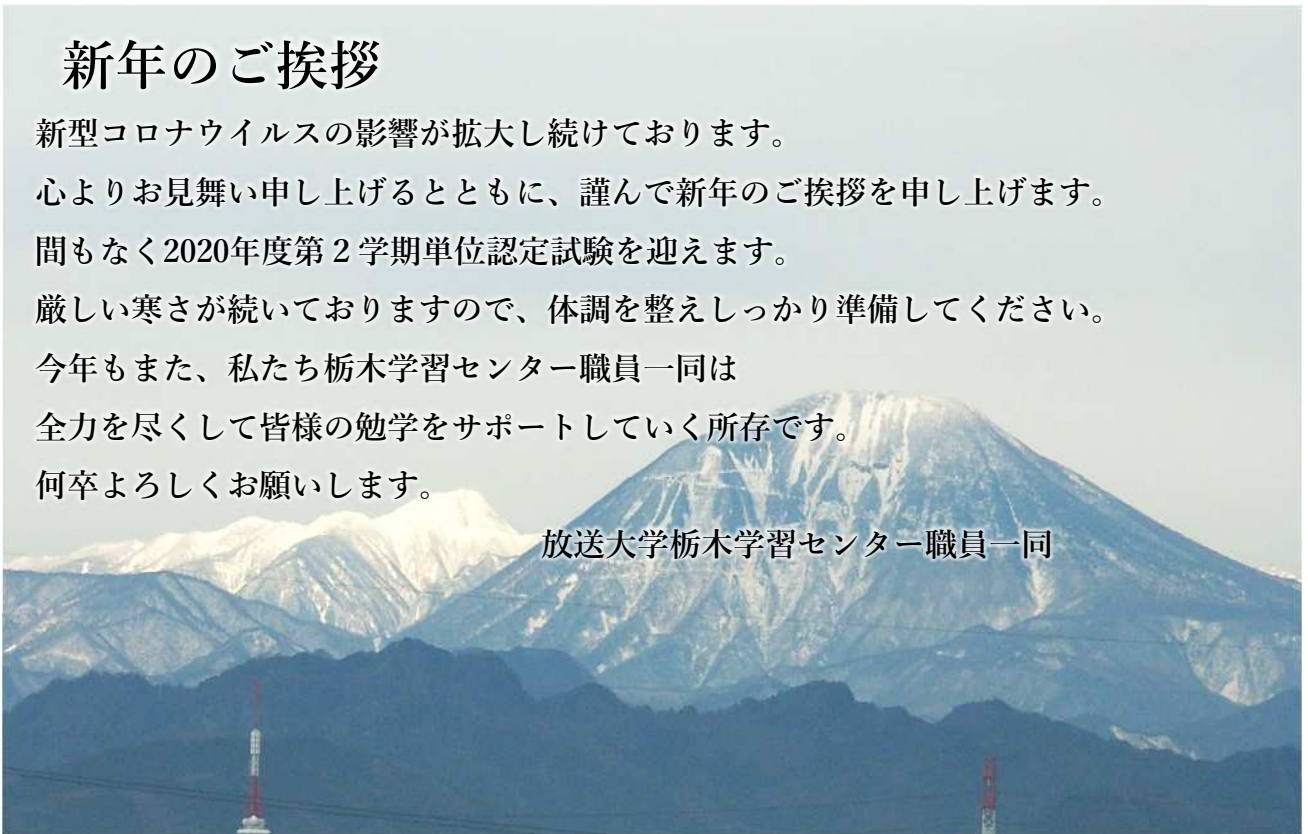
放送大学栃木学習センター とちの実 Tochinomi



新年のご挨拶

新型コロナウイルスの影響が拡大し続けております。
心よりお見舞い申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
間もなく2020年度第2学期単位認定試験を迎えます。
厳しい寒さが続いておりますので、体調を整えしっかり準備してください。
今年もまた、私たち栃木学習センター職員一同は
全力を尽くして皆様の勉学をサポートしていく所存です。
何卒よろしくお願ひします。

放送大学栃木学習センター職員一同



宇都宮から望む初冬の日光連山

目次

| | |
|---|---------------------------|
| 巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2 | 次学期の準備・・・・・・・・・・ p. 9～10 |
| 学位記授与式／ 卒業生からのアドバイスやメッセージ ・・・・・・・・ p. 3～6 | 特別ゼミのご案内・・・・・・・・ p. 11～13 |
| 図書だより・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 6 | 講演会のご案内・・・・・・・・ p. 14 |
| 単位認定試験・・・・・・・・・・ p. 7～8 | キャンパスカレンダー・・・・・・・・ p. 15 |
| | 学習相談日・・・・・・・・ p. 16 |

巻頭言

多様な考え方やマイペース

宇都宮大学准教授

渡邊 信一

[工学教育・感性工学]

今年度より客員教員に就任いたしました。よろしくお願いたします。

私は「人間の感覚を数値で表そう」というテーマで研究を行っています。長さや重さなどは単位があり、みなさんは「長さ1m」を共通認識されていると思います。ところが、この物語は「楽しい」とか「悲しい」という感覚や感情には単位がありません。それは人それぞれ受ける感覚や感情が異なるからです。またその人がおかれている環境によっても感じ方が違うと思います。例えば、好きな人や家族・友人と見る映画や一緒に過ごす食事は楽しく、幸せを感じると思いますが、付き合いによる食事会などは楽しく感じる事が少ないかもしれません。このように人間の感覚は「あいまい」であり「長さ1m」のように一意の値として決めることが難しい量です。身近な話題として色から受ける印象はある程度わかっていますが、実は人によって微妙に見え方が違うかもしれません。それを調べることは非常に難しいことでもあります。この研究ではこの環境でこの人はどのように感じているかを、アンケートやお話を伺うことによりデータを収集します。場合によっては機械的に対面せずアンケート用紙に記入していただき、回収することもあります。この研究の楽しいところの一つは対面により、その方が感じていることをお聞きすることにあります。

最近、世の中では「多様性」とか「ダイバーシティ」という言葉を耳にします。特に企業では性別・年齢・国籍・おかれた環境の違いなどによる多様な人材の多様な働き方を認め、活用することに積極的です。経済産業省でも「ダイバーシティ経営企画100選」事業などを行い、ダイバーシティ経営を推奨しています。この背景としては「労働人口の減少」、国際競争の激化による「多様な能力の確保」があり、この活動の効果としては「イノベーションの創出」や育児や介護などによる人材の流出を防ぎ「優秀な人材の確保」があげられます。

この研究を行っている就多様な感じ方や考え方をされる方がいることを実感します。それは私個人と異なるだけではなく、同じ質問に対して他の方々と異なる回答をされる場合もあります。自分の結果を気にされる方もいますが、個人情報なので本人でも教えることはありません。これまでは日本人の国民性なのかはわかりませんが、とにかく「他人と同じ」であることが安心感をもたらしていました。しかし「with コロナ」の新しいライフスタイルの中で、感染を拡大させないために、いかに「他人と異なる」行動をするかが求められようとしています。まさしく「多様な考え方やマイペース」です。

放送大学では多様な学生が在籍し、マイペースで学習できると聞いています。面接授業などでみなさんにお会いする機会があると思います。みなさんも多様なお考えの方に刺激を受け、周りを気にせずマイペースで楽しく勉強してください。

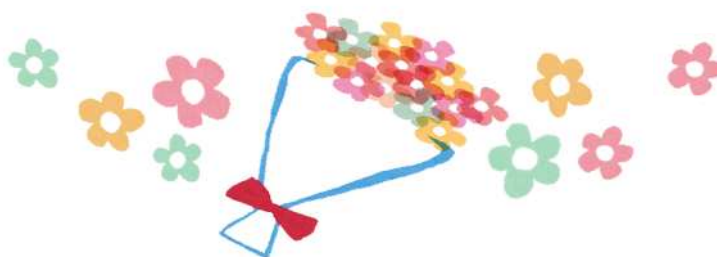
「2020年度第1学期 学位記授与式」の報告

10月4日(日)、栃木学習センター大講義室で「2020年度第1学期 学位記授与式」を行いました。



(伊東所長 式辞)

栃木学習センターからは、教養学部生25名が卒業されました。
また、その中から5名の方が生涯学習奨励賞(卒業・修了回数3回目以上)を受賞されました。
職員一同、心よりお祝い申し上げます。



卒業生からアドバイスやメッセージをお寄せいただきました (50音順)

「急がば回れ」 上村 隆行 さん (心理と教育コース卒業)

放送大学は単位制なので、自分の能力に合わせて学べば必ず卒業できます。他の人が一期に10科目を取ったからと言って、俺もなどと思わないで自分の力に合わせて学ぶ方がベターです。ある高齢者の学生が4年で卒業しようとして、一期に放送授業を7科目、面接授業を3科目申請して、頑張ったのですが単位認定試験を全滅したので、一期で泣き泣き退学して行った学生もいました。誰でも一期に3科目ずつ単位認定試験に合格して面接授業で20単位取れば10年もかからないで卒業できます。私も1回目の卒業は7年おくれました。

2回目の卒業は3年おくれました。人は人、俺は俺で学べば良いからです。新入学生の方、一緒にゆっくり学びましょう。そして学習センターに通ってくると、必ず卒業できます。それではお目にかかる事を楽しみにしています。

「放送大学と共に学んで」 川内 國雄 さん（生活と福祉コース卒業）

私は63歳で放送大学入学、大学院の自然環境科学プログラム、教養学部の人間と文化・生活と福祉コースを修了し、この度社会と産業コースに継続入学した。

これから放送大学で学ぶ方々へのアドバイスなど誠におこがましいことではあるが、時間を大切に楽しく学ぶことが目標に到達する要諦ではないかと思っている。

仕事をもってスキルアップや資格取得を目指す方は、生活の中で勉強時間を創出して高い優先順位に位置付けること。また私のような定年後の学び直しで、衰えた理解力や記憶力を補うことができるのは、豊富にある時間を勉強に集中することであると思っている。

現在71歳、放送大学で学び続けた最大の理由は楽しいからである。楽しく学ぶための方法の一つとして放送大学の学生の友達を持つことであると思う。単位認定試験の際にサークル活動に参加してみることや、SNSの放送大学学生のグループに入ることなど、気軽に話ができる友達がいることは目標達成への大きな力になると思っている。

「新しく入学した方へ」 神野 洋平 さん（心理と教育コース卒業）

私は定時制高校を卒業し10年を経て2009年に放送大学1年次入学。どちらかといえば理系・現業系から思いっきり文系に乗り換える形になって、勉強と仕事の両立に苦しんで病気など（両立できず休学期も含み）11年が経ってしまった。こんな経緯ゆえ独善的過ぎて参考にならないかもしれないが、私が通った道を交えて記述したいと思う。

何と言っても1年次入学は卒業までに気の遠くなるような単位数が必要であり、それも（恐らく他大学よりも）授業が濃厚であるから。最初の1～2年ほどとにかく基礎・共通科目を学ぶ。初めは自専攻、興味が出てきたら他専攻も含める。以降は何年目だろうが「詳しく知らない分野」ならば手始めに基礎科目・共通科目から開始する。学習のペースは出来れば学期中に「授業全15回をざっと聞いて」「印刷教材を読んで自分なりに考える」「試験対策」の3本立てが理想的。これらこのことは、以後の専門、総合科目の学びに影響することは間違いないし、124単位&10年間もあるのだから慌てずゆっくりと徹底してやり込んでいけばよい。

私は他大学のことを詳しく知らないが、他大学の基礎・共通科目と放送大学のそれは恐らく別物である。一般には再学習が中心と聞くが放送大学の場合は正に「新しい知見の基盤を得る為の講義」これは講師陣をみても一目瞭然なぐらいである。

分類上専門・総合科目となっても基礎・共通科目に通じる科目はたくさん存在するし学習が進むにつれ専攻や専門基礎というのはあくまで履修上の分類であり学問的にはあまり意味がないことに気が付くのではないだろうか。逆を返すと教養学部全部が基礎科目であり総合科目なのである。

単位認定試験は生易しいものではなく初めは「危険物取扱者国家試験」を何度も受験するように感じる程だから不合格になっても気にせず1～2年がかりで単位を取ればよい。いくら準備万端でも勉強と仕事の両立のさなか藪蛇にかまれて受験できないことも多々ある（受験日の勘違い、深夜勤、会社から止められた等々）。

「就職」や「昇進」は考えないほうがよい。とはいえ大多数の方が「大学進学＝就職、昇進」と考える今日。そういう目的で入学されるかたもいると思う。卒業後に明確な目的があるのならば、必要最低限のことを手際よくやって早く卒業する・・・実際にそういう人もいると聞く。見方を変えると

これは「手際の良い熟達者」(認知心理学('13) P312他多数)しかしどこかでつまづいて転んでしまった、まさかの事態にいたったとき、一体どこに戻ればよいのだろうか?・・・「あのときもっと勉強していれば」とか、まさかの事態には「就職も昇進もできなかった」「失業、貧困、孤立」等は今日では容易に想像が付く。しかし幸いにして放送大学は戻ることができるのであるから改めて学びなおすのである、つまり「適応的熟達者」になる道は残されている。専攻外、専門外であっても必要な知見、学ぶべきものはたくさん存在する。それが具体的何かは各人違うと思うから「自分に必要な学習を見つけていくこと」に尽きるのだろう。

なお現在閉講科目ながら「格差社会と新自由主義('11)」「認知心理学('13)」は再放送が続いており全専攻に共通する内容と思うのでぜひ1度見てほしい。開講中の科目では「死生学のフィールド('18)」「今日のメンタルヘルス('19)」「経済社会を考える('19)」等が推奨。

あまり意味がないと思うが、私はこのほど42歳で「新卒」である。学位なんて「きれいな紙」程度にしか思っていないし過去にも〇〇取扱者、〇〇技術者の類を複数習得したがどれも結局ただの紙だった。(理由は様々)

では何だったのか?資格のためとはいえ一生懸命勉強してあることないこと考えつくした過程そのものが財産だったのである。放送大学においても同様であり脱線しては戻っての勉強の過程そのものが真に残るものである。「この先生のいっていることはおかしい」(これまで聞いてきたものと違う)「これは〇〇学だけど■■学と同じこと言っているぞ」(ユング心理学とカント、ハイデカー哲学など)「そうだ、そのとおりだ!それに比べて〇〇は」(その時の社会事象など)

私はこのかたノートというものを一切持たず、印刷教材の余白にその時の思いつきや愚痴ばかり記述してきたが(試験よりも講義を聞いたうえでの理屈こねくり回しに力点が置かれていたぐらい)、そんな落書きやこねくり回しですら今では財産で「あのときこう思った」ということを手掛かりに科目や分野、有名な理論と自分の理解が引き出せてしまう。おもえばとんでもない検索システムを自身に築き上げてしまった。これはあらゆる学習の心理学的な要とされる「メタ認知」の過程だったのかもしれない。

最後に近年メンタルヘルス不調者の増加とあいまって、カウンセリング技術の要求の強まりもあいまってなのか「心理学を学ぼう、目指すは認定心理士」と3年次編入学される方が多いようなので、付け加えておきたい。

実は私はこの道30年の筋金入りメンタル不調(精神疾患)&ワーキングプア(社会的排除)で現代の社会問題の鏡(?)でまもなく認定心理士(見込み)だったりする。しかしクライアントを理解するための勉強や方法が本当に存在するとすれば、それは「精神疾患になること」以外ないだろう、そして「ただの精神疾患にしないために最大限の努力を尽くすこと」これは時は違えど大御所「フロイトとユング」通った道そのものだ。私はその2者をあえて「社会的な精神疾患の大先輩」と認識している。

精神医学や心理学の知見のみで人を理解することはできない(以前そのような臨床心理士が私にさじを投げつけた)人を理解するには「教育、政治、経済、人類、社会、哲学、ほか」あらゆる知見を持って臨まなければならない。まとめれば「心理学を極めるには社会学も経済学も哲学も情報通信学も必要だ」ということである。

ここまでの文中に聞きなれない名前や言葉いくつか出てきたと思うがそれが何かについては各人今後の学習の過程で探究していただければと思う。例えば「認知スキーマ」という言葉1つとしても「一般論:俗論:あの先生(科目):この先生(科目):ネット:リアル」の違いを学んでは感じ累積していくことこそ学習の最大意義がある。

「学びは生きるための羅針盤」 糸川 君子 さん（生活と福祉コース卒業）

10年前の国勢調査時に学歴の欄があり、放送大学の勉強を再スタートしました。大卒の欄に○をとの一心での事でした。私は1988年入学ですが、子育てと仕事での長いブランクでした。

『人間と文化』、『社会と産業』、『生活と福祉』と3コースを終えました。

10月から『心理と教育』コースを、昨年生まれた初孫の為になるかと選択しました。

「いつでも、どこでも、だれでも学べる大学」は、最適の環境でした。面接授業で他県まで出かけることは旅行気分も味わえました。大学4年と3年の娘たちの近くの学習センターの授業を取ったりもしました。

超高齢化と新型コロナウイルスのいま、学びは生きるための羅針盤となりうること間違いないと思います。

「私も新入生」 村井 義男 さん（生活と福祉コース卒業）

私も4回目の入学となります。「初心を忘れず」、「継続は力なり」をモットーに皆さんと一緒に卒業を目指して挑戦します。

卒業は3回したわけですが、最初の2008年入学時には「卒業論文」に挑戦し充実した気持ちで卒業することが出来ました。同じ卒業でも「卒業論文」では担当の指導教授との双方向のコミュニケーションが図れて格別の思い入れがありました。新入生には是非「卒業論文」に挑戦し大きな達成感を味わっていただきたい。

図書だより

図書・視聴学習室閉室日のお知らせ

2021年3月24日(水)は、新学期準備のため終日閉室となります。

図書や放送教材の閲覧、学生用パソコンの利用はできませんので、ご了承ください。

学生図書リクエスト受付終了

2020年12月24日(木)で学生図書リクエストの受け付けを終了いたしました。

リクエストありがとうございました。



2020年度第2学期 単位認定試験

2020年度第1学期単位認定試験同様、2020年度第2学期単位認定試験についても、新型コロナウイルス感染症が拡大する可能性を考慮し、代替措置による自宅受験にて実施いたします。

つきましては、下記のとおり実施いたしますので、ぜひご確認ください。

※学習センターの図書・視聴学習室での試験問題の閲覧や印刷、受験はできません。

試験実施期間



2021年1月13日(水) ~ 2021年1月21日(木)

※事前に周知していた試験日程とは異なります。配布済みの授業科目案内やシステムWAKABAの時間割等は、変更前の日程で記載されていますので、期間をお間違えのないようご注意ください。

試験問題について



試験問題は下記の①②のいずれかの方法で入手してください。

詳細は大学本部からの案内(12月下旬発送予定)をご確認ください。1/5(火)になっても案内が未着の場合は大学本部(043-276-5111)へお問い合わせください。

①試験期間中、放送大学ホームページからリンクされたウェブページ(※要ユーザー名(ID)・パスワード)に、科目別に試験問題(PDFファイル形式)が掲載されます。ご自身のパソコン・スマートフォン等からアクセスし、閲覧してください。

期間中は何度でも閲覧可能で、利用できるプリンターがあればプリントアウトも可能です。プリンターはないがプリントアウトしたい方は、②の方法で印刷してください。

※ユーザー名(ID)・パスワードは、12月下旬から1月中旬にかけてお知らせする予定です。

②Web上で試験問題を閲覧する環境がない方、またWeb環境はあるがプリントアウトができない方については、主要コンビニエンスストア設置のコピー機端末で提供されているプリントサービス(有料)を利用して試験問題を印刷してください。

セブンイレブンは「ネットプリント」、ファミリーマート・ローソン・ポプラは「ネットワークプリント」というサービス名称です。

※各コンビニエンスストアの利用方法や印刷に必要な予約番号等については12月下旬(予定)の解答用紙郵送時に同封されると共に、システムWAKABA上にて公開されます。

解答の提出方法

大学本部から送付された解答用紙(択一式マークシート・記述式解答用紙)と答案提出用封筒を使用し、期限内に答案を大学本部に郵送してください。

【答案提出期限】 1月21日(木)消印有効

※必ず事前に郵便局窓口の営業時間や、ポスト投函を利用する場合は集荷時刻および消印日付を確認してください。

試験の結果

試験結果は、2月下旬に「成績通知書」によって通知します。また、システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも成績を確認することができます。(「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は掲載されません。)

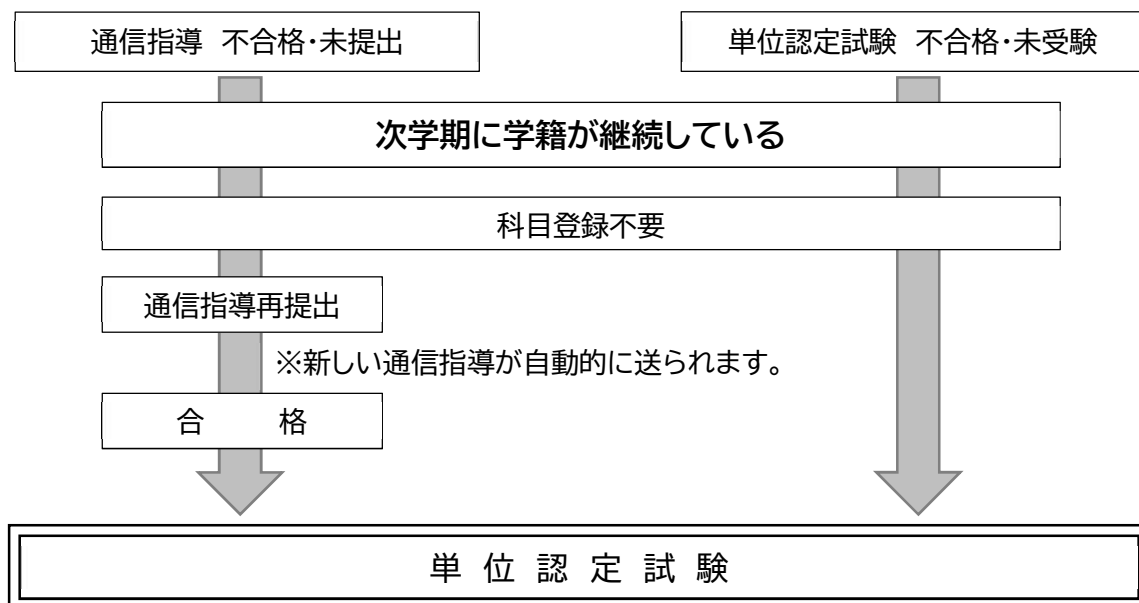
※成績通知の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システムWAKABAでの確認や、システムWAKABAから科目登録を行うことをおすすめしています。

再試験について

今学期登録した科目のうち、〔通信指導 不合格・未提出〕または〔単位認定試験 不合格・未受験〕だった科目については、次学期に学籍がある場合に限り、科目登録をしなくても再試験を受けることができます。再試験に係る授業料は不要です。

今学期で在学期間が終了する方は、継続入学の手続きが必要です。

詳しくは「学生生活の栞」(教養学部p.74～、大学院p.71～)を参照してください。



次学期の準備(科目登録・継続入学)

次学期に学籍がある方

『科目登録申請』を行ってください。(「学生生活の栞」p.60～)

【郵送】 2月13日(土)～2月27日(土) 大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されている「科目登録申請票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】 2月13日(土)～2月28日(日) 24:00まで

○教養学部生で面接授業(スクーリング)を登録したい方は、併せて申請を行ってください。

○「郵送」と「システムWAKABA」の重複申請はできません。

次学期に学籍がなく、継続入学を希望する方

『継続入学出願』を行ってください。(「学生生活の栞」p.94～)

■面接授業(スクーリング)を登録しない方

【郵送】 ≪第1回≫ 11月下旬～2月28日(日) 大学本部必着

≪第2回≫ 3月 1日(月)～3月16日(火) 大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「継続入学用出願票」または学習センター等で配布している「学生募集要項」に添付されている「出願票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】 ≪第1回≫ 11月下旬～2月28日(日) 24:00まで

≪第2回≫ 3月 1日(月)～3月16日(火) 17:00まで

○「郵送」と「システムWAKABA」の重複出願はできません。

■面接授業(スクーリング)を登録する方

【システムWAKABA】2月13日(土)～2月28日(日) 24:00
ログインし、「教務情報>継続入学申請」にて出願してください。

※郵送での出願はできません。

※面接授業(スクーリング)のみの出願はできません。放送授業を1科目以上、必ず登録してください。

■再試験のみを希望する方

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入してください。
この場合の学費は入学料のみとなります。

卒業が見込まれる全科履修生の方

1月中旬に送付される「卒業見込み者宛て連絡事項」および2月下旬に送付される「卒業認定通知」により卒業となるかを確認の上、必要な手続きをしてください。
詳しくは「学生生活の栞」(教養学部p.95～)を参照してください。

■卒業とならない方

次学期も学籍がある場合は『科目登録申請』の手続きをしてください。
次学期に学籍がなく、引き続き在学を希望する場合は『継続入学出願』の手続きをしてください。

■卒業となる方

再入学を希望する場合は『継続入学出願』の手続きをしてください。

2月5日(金)になっても「科目登録申請要項」「継続入学用出願票」が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。(電話:043-276-5111(総合受付))

特別ゼミのご案内

特別ゼミは、少人数で行うゼミ形式の勉強会です。栃木学習センター所属の客員教員から直接指導を受けることができます。

登録ゼミ数の制限はありません☆皆さまの積極的なご参加をお待ちしています♪

【参加資格】

栃木学習センターに所属する学生(学生種別は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】

※受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

※正規の単位としては認められません。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

全ゼミ先着順
です!



【申込方法】

事務室窓口・電話・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込みの際は、氏名・学生番号・希望ゼミ名・ご連絡先をお伝えください。FAXの場合は、明記してください。

電話:028-632-0572/FAX:028-632-0570

受付期間: 1月7日(木)9:00~各ゼミ開講1週間前まで

※事務室窓口でのお申し込みは同日13:00~となります。

① Excelで学ぶ心理データ解析入門

講師:西谷 健次(にしたに けんじ) [専門分野/心理学、教育心理学]

調査・実験データを統計的に解析する「心理統計法」は、心理学を学ぶ人にとっては鬼門です。数式に基づいて統計法を理解していくのが望ましい学び方なのかもしれませんが、まずは「習うより慣れる」です。そこでExcelを使って統計法を身近に感じてみましょう。※心理学を学んでいる方の受講を希望します。

| | | | | |
|---|---|--------------------|----|-----|
| 日 | 時 | 2月6日(土) 9:30~17:30 | 定員 | 10名 |
| 会 | 場 | 演習室 I | | |
| 持 | ち | 物 USB(新品に限る) | | |

② 地震の科学と地震防災

講師:伊東 明彦(いとう あきひこ) [専門分野/理科教育学、地球物理学]

地震及び地震防災に関する理解増進を図ります。それぞれ4時間程度、2日に分けて以下の内容で実施します。どちらか一方のみの参加も可とします。

1. 地震の科学:地震とは何か、地震観測の仕組み、地震はなぜ起こる
2. 地震に備える:地震予知はできるのか、地震防災、防災ゲーム「クロスロード」

| | | | | |
|-----|------|--|----|-----|
| 日 | 時 | 2月20日(土) 13:30~17:30 2月27日(土) 13:30~17:30 | 定員 | 10名 |
| 会場 | 演習室Ⅱ | | | |
| 持ち物 | 特になし | | | |

③ 理系的心理計測入門

講師:渡邊 信一(わたなべ しんいち) [専門分野/工学教育、感性工学]

みなさんと簡単な心理学的実験の内容・方法の検討、実験の実施、データのまとめ方等を議論しながら理系(工学部)の視点で心理計測方法について学習します。尺度や既存の計測方法の概要は説明しますが、みなさんとの議論に合わせてゼミを進めていきます。既存の方法にとらわれず、自由に議論し、楽しく勉強しましょう。

| | | | | |
|-----|----------------------|---------------------|----|-----|
| 日 | 時 | 2月28日(日) 9:30~17:30 | 定員 | 10名 |
| 会場 | 演習室Ⅱ | | | |
| 持ち物 | 電卓(スマホで可)、ノートPC(あれば) | | | |

④ パソコン入門

講師:佐藤 美恵(さとう みえ) [専門分野/情報工学]

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの基本的な操作(キーボード入力、マウス操作、オンライン授業に必要な基本スキルや、ワードによる文書作成とPDF保存、Webとメールの活用、など)を学びます。

| | | | | |
|-----|------|--------------------|----|----|
| 日 | 時 | 3月6日(土) 9:30~17:30 | 定員 | 8名 |
| 会場 | 演習室Ⅰ | | | |
| 持ち物 | 特になし | | | |

⑤ 映画をとおしてタイの社会と文化を考えよう

講師: マリー ケオマノータム [専門分野/社会学]

タイの社会と文化について、日本との比較もまじえて考えます。

タイ映画を観て、タイ料理を食べながら(昼食)、自由に感想を語り合い、タイ社会と文化についての理解を深めます。

| | | | |
|-------|--------------------|-----|----|
| 日 時 | 3月6日(土) 9:30~17:30 | 定 員 | 8名 |
| 会 場 | 小講義室(昼食は学外に出ます。) | | |
| 持 ち 物 | 昼食代2,000円程度 | | |

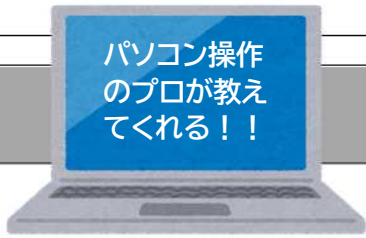
⑥ 発達の視点からヒトの心を考える

講師: 石川 隆行(いしかわ たかゆき) [専門分野/発達心理学]

人間の成長過程において生じる心の特徴について解説し、またそれに関する調査等を体験することによって、発達の視点からヒトの心理現象について理解します。

※1学期実施の内容と同様になります。

| | | | |
|-------|----------------------|-----|----|
| 日 時 | 3月13日(土) 13:00~17:00 | 定 員 | 4名 |
| 会 場 | 演習室Ⅱ | | |
| 持 ち 物 | 特になし | | |



パソコン操作
のプロが教え
てくれる!!

⑦ 初心者へのパソコン教室

講師: パソコン教室 グリーンニー Greeny

これまでの内容をレベルアップし、Excel、PowerPointなどの操作に加え、システムWAKABAへアクセスし、諸手続きを確認します。また、Zoomにおける模擬会議も実施します。

このゼミでは、経験豊富な「パソコン教室Greeny」の講師が、分かりやすく教えてくださいます。

今回は、年賀状作成(Excelで住所録作成、Wordで宛名やデザイン作成)、PowerPointで簡単なアニメーション作成を行います。システムWAKABAの活用、Zoomでの模擬会議もお楽しみに!

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-----|----|
| 日 時 | 2月13日(土) 10:00~12:00 13:00~16:00 | 定 員 | 5名 |
| 会 場 | 演習室Ⅰ | | |
| 持 ち 物 | USBメモリ(お持ちでない方は事務室で貸し出します。) | | |
| 備 考 | 原則、全時間参加できる方 | | |

公開講演会のご案内

【会 場】 栃木学習センター2階 大講義室 【定 員】 各先着50名 【受 講 料】 無料

【申込方法】 事務室窓口・電話・FAX・メールのいずれかの方法でお申し込みください。

FAX・メールでお申し込みの際は、氏名・電話番号・希望の講座名・放送大学の学生の場合その旨を明記してください。

電話:028-632-0572/FAX:028-632-0570/E-mail:tochigi-sc@ouj.ac.jp

受付期間: 1月13日(水)9:00~各講演の開講1週間前まで

※事務室窓口でのお申し込みは同日13:00~となります。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

『地球最後のフロンティア—超深海への挑戦—』

【講 師】 北里 洋 氏
(専門:地球生命科学・深海生物学・海洋微古生物学)

【日 時】 2021年2月13日(土) 14:00~16:00



真核単細胞生物の有孔虫類を題材にして深海極限環境への生物の適応生態と進化に関する研究を行っています。研究のために「しんかい2000」、「しんかい6500」、「ハイパードルフィン」などを用いて深海にアクセスしています。2008年にはインド洋無酸素海域への世界初の潜航調査を実施しました。2013年には世界一周航海『QUELLE 2013』を指揮しました。いまだに超深海研究への夢を捨てきれず、日本海溝をはじめとする海溝部への調査航海を模索中です。

『「内」から「外」へ—美術館の発信活動』

【講 師】 橋本 恵里 氏
(専門:フランス近代美術史)

【日 時】 2021年2月14日(日) 14:00~16:00



みなさんは「美術館」にどのようなイメージを持っていますか？企画展や常設展で美術作品を展示する、以外にも実は多様な活動を行っています。その例が地域との連携やアウトリーチ事業です。外部への発信活動は、近年のあいつぐ災害やコロナウイルス禍の影響により、ますます重要性が高まっているといえます。本講演では、福島県立美術館の事例を引きながら、館外へ向けて行っている美術館活動についてご紹介します。みなさんが美術館を今後より活用していただける契機となれば幸いです。

キャンパスカレンダー

1月



(面)…面接授業 ■ 閉所

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 (面) | 10 (面) |
| 11 | 12 | 13 ☆ | 14 ☆ | 15 ☆ | 16 ☆ | 17 ☆ |
| 18 ☆ | 19 ☆ | 20 ☆ | 21 ☆ | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

【1月の予定】

9・10日 (面) 「感情と「多文化共生」」
13～21日 ☆ 単位認定試験実施期間

2月



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|-------------------|-----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 (ゼ) | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 ◎(講) (ゼ) | 14 (講) |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 (ゼ) | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 (ゼ) | 28 (ゼ) |

【2月の予定】

6日 (ゼ) 「Excelで学ぶ心理データ解析入門」
13日 ◎ 2021年第1学期科目登録申請受付開始
(郵送: 2/27必着、Web: ~2/28)
(講) 「地球最後のフロンティア～超深海への挑戦～」
(ゼ) 「初心者へのパソコン教室」
14日 (講) 「「内」から「外」へ～美術館の発信活動～」
20・27日 (ゼ) 「地震の科学と地震防災」
28日 (ゼ) 「理系的心理計測入門」

3月



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------|----|-----------|----|----|-----------|---------|
| 1 ◎ | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 (ゼ) | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 (ゼ) | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 (図) | 25 | 26 | 27 | 28 ● |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

【3月の予定】

1日 ◎ 2021年第1学期出願受付(第2回)開始
(~3/16)
6日 (ゼ) 「パソコン入門」
(ゼ) 「映画をとおしてタイの社会と文化を考えよう」
13日 (ゼ) 「発達の視点からヒトの心を考える」
24日 (図) 図書・視聴学習室 終日閉室
28日 ● 修士論文・卒業研究発表会、学位記授与式

※変更になる場合がありますので、学習センターホームページをご確認ください。

学習相談日(1月～3月)

主に毎週土曜日(13:00～17:00)に学習相談日を設けています。

ご希望の方は「学習相談申込書」に記入の上、事務室までお申し込みください。

手続きの詳細につきましては、栃木学習センターホームページまたは事務室までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※先生や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談に応じることができます。

| 教員名／現職 | 専門分野 | 相談日 |
|------------------------|----------------|----------------|
| 相田 吉昭 宇都宮大学教授 | 地質学 古生物学 | 1/9,2/13,3/6 |
| 石川 隆行 宇都宮大学准教授 | 発達心理学 | 1/23,2/6,3/6 |
| 出羽 尚 宇都宮大学准教授 | 美術史 イギリス文化論 | 1/9,2/13,3/13 |
| 大森 玲子 宇都宮大学教授 | 食物学 食生活学 | 1/9,2/13,3/13 |
| 佐藤 美恵 宇都宮大学教授 | 情報工学 | 1/9,2/27,3/6 |
| 西谷 健次 作新学院大学教授 | 心理学 教育心理学 | 1/23,2/20,3/13 |
| マリー ケオマノータム 宇都宮大学教授 | 社会学 | 1/9,2/6,3/13 |
| 渡邊 信一 宇都宮大学准教授 | 工学教育 感性工学 | 1/23,2/13,3/6 |
| 伊東 明彦 栃木学習センター所長 | 理科教育学 地球物理学 | 随時対応 |

放送大学栃木学習センター

■開所時間:現在、新型コロナウイルス感染症への対応として、13:00～16:00 となっています。
変更がありましたら学習センターホームページに掲載しますので、ご確認ください。

■閉所日:月曜・祝日休

〒321-0943 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

【HP】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【TEL】028-632-0572 【FAX】028-632-0570 【E-mail】tochigi-sc@ouj.ac.jp

「とちの実 第119号」は12月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。
次号は4月号発行予定です。(「とちの実」は年4回発行)